

# さすなべみず 差首鍋のすず水 真室川町大字差首鍋

～令和2年度選定～



真室川町差首鍋の滝ノ上地区に、石造りの水場から澄んだ水が流れ出ている。この湧水の隣には地蔵様があり、延命地蔵として古くから知られている。この水を飲んで生活していた地域住民が、病に掛かりにくく長生きしたことから「延命水」とも呼ばれている。



〔管理者〕 瀧應寺 〔保全団体〕 滝の上地区

里の名水・やまがた百選



## 歴史や利活用

差首鍋という地名の由来は諸説あるが、戦国時代この地は最上と庄内を結ぶ戦略的要衝であった。当時、最上義光軍が沓沢玄蕃の居城を包圍して城内を水不足にするべく企てたが、城内に湧水があり降伏しなかった。やがて湧水も枯れ細り、玄蕃の家来たちは次の手として、城壁の窓から「首」を「差」し出すように「鍋」を吊るしては眼下を流れる大沢川の水を汲み上げ、生き長らえたことから「差首鍋」となったという。

## アクセス

(北緯 38.920745°、東経 140.1999982°)

真室川町役場より国道 344 号を酒田方面に 10 km 程進む。町営バス停の「中村橋」がある十字路を左折し、滝ノ上地区集落内を 100m 程直進し、瀧應寺境内の下にある。



## 近くの見どころ

- < やまがた百名山 > ◆ 加無山 (男加無山、女加無山)
- < 日本一の滝王国山形 > ◆ 不動明王の滝、土倉の滝
- < やまがた景観物語 > ◆ —

清らかで水量豊かな湧水が県内各地に点在し、大地や人、草木に潤いを与えています。県では地域の人々に育まれてきた優れた湧水を「里の名水・やまがた百選」として選定し、地域の活性化や観光誘客につなげていきます。

また、本県は「自然が豊富で水がいい」強みを活かし、質の高い県産品をお届けすることができます。